

大阪港のシンボル：

大阪港の海の玄関口にそびえる 最先端技術が支えるゲート橋



2019年7月（大阪府大阪市港区・港大橋）

◆日本一の3径間ゲルバートラス橋

大阪港で最も船舶航行量が多いことから、全長980mの長大トラス橋となりました。中央径間510mは世界第3位の規模を誇ります。大阪港のランドマークとして変わらぬ存在感を示しています。

◆斬新な地震対策設計

地震時に道路部がスライドして橋のトラス部材を損傷させないための「すべり免震支承」や、主要部材を補助する部材への座屈拘束ブレース等の「制震技術」により、二度目の田中賞を受賞しました。

岡村幸二（JRRN会員）